

二席 沖縄県文化振興会理事長賞

魔物<sup>マジムシ</sup>

鈴木小すみれ

屋根の上に獅子がいる  
眼を見開いて

眉も尾も炎のように怒らせて

そもそも この島に

そんな獣はいなかった

遠い国より連れられて来た彼らが

この海を 越えて来る者を

今も見張っている

本能を剥き出す彼らと

野生を忘れてしまった 我ら

門の両側に獅子がいる

いつしか島の景色に溶けて

名物にさえ なり果てて

夕陽の帰る水平線に

故郷の地平を重ね観て

彼らは この地で威を放つ  
命まで懸けて……

魔物とは何なのだろう  
彼らが護っているものと  
我らが守りたく想うものとは  
同じ姿をしているだろうか

動物園の賑わいは  
事件の合間の 和やかなニュース  
檻の中に住まう彼らを  
安心のうちに眺める 我ら

重みを持たない防具を纏い

振動の伝わらない武器を構えて

温度も湿度も変わらない

仮想の戦地へ繰り出して

島の若者は指を肥やす

護られることばかりを覚えて

力を失くした白血球が

我らの体内を彷徨ったまま……

村落<sup>シマ</sup>の手前に獅子がいる

人々の恐れの数だけ

獅子は佇む